

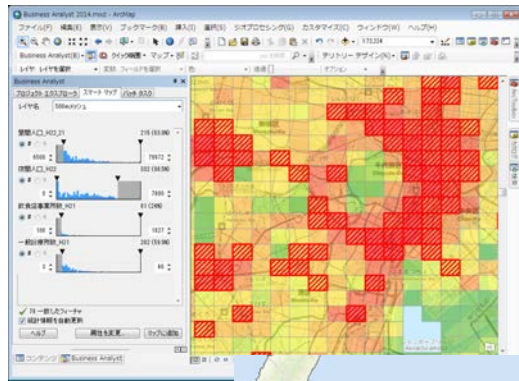
Esri Business Analyst 10.2.2

10.1 からの主な変更点について

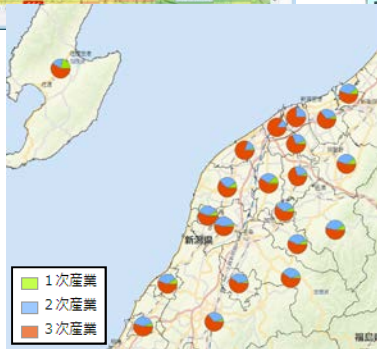
Esri Business Analyst 10.2.2 の主な変更点

最新の統計データを新たに搭載しました

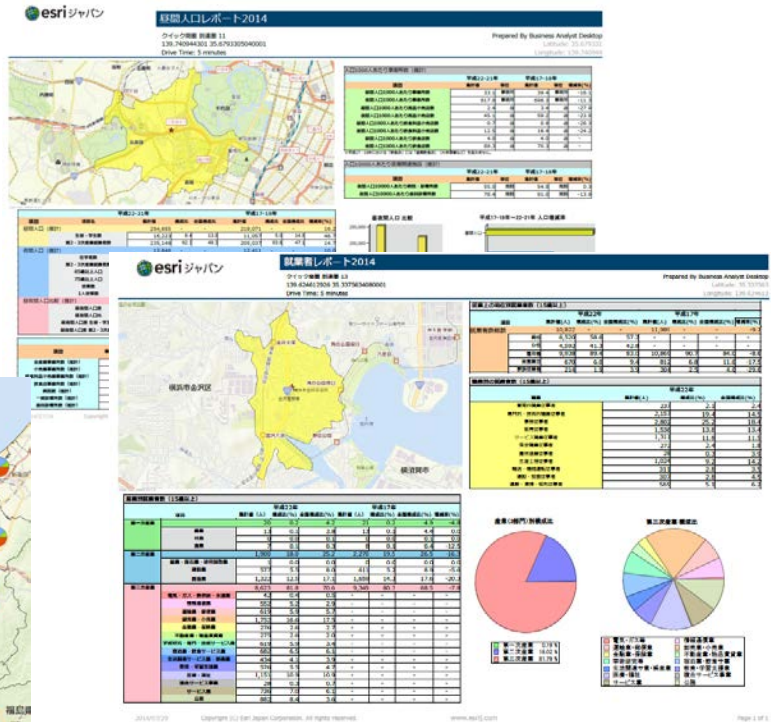
平成 22-21 年昼間人口データや、国勢調査の職業等基本集計、従業地・通学地による人口・産業等集計などの統計データを新たに搭載しました。また、「就業者レポート」を新たなレポートとして追加し、「昼間人口レポート」を最新の昼間人口に対応できるように更新しました。最新のデータを活用した商圈分析をすぐに行うことができます。



平成 22-21 年
昼間人口



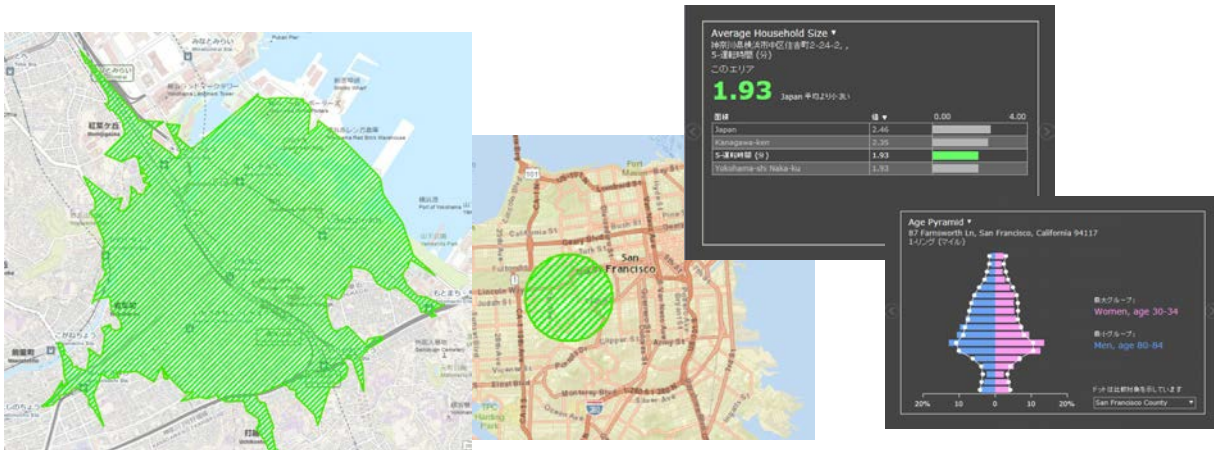
職業等基本集計



昼間人口レポート・就業者レポート

ArcGIS Online との連携を強化しました

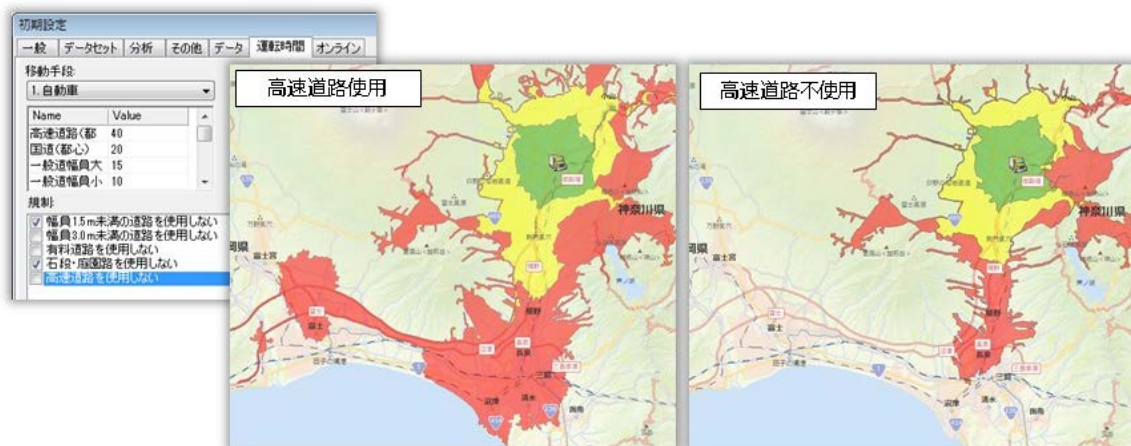
ArcGIS Online 組織向けプラン※をご利用中のユーザは、世界中の統計データに Esri Business Analyst から簡単にアクセスできるようになりました。このデータを活用することによって、世界各地のマーケット分析をすぐに行うことができます。日本国内においても詳細なデータを整備しており、オンラインを通じて多様なデータを利用できるようになります。また、世界各地の拠点住所をもとに地図上に展開することも可能になりました。



※ Esri Business Analyst ユーザは ArcGIS Online (ArcGIS for Desktop ユーザ向け) をご利用いただけます。詳しくはこちらをご覧ください。(http://www.esri.com/programs/arcgis-online-for-arcgis-for-desktop-users/)

道路ネットワークに通行ルールを設定できるようになりました

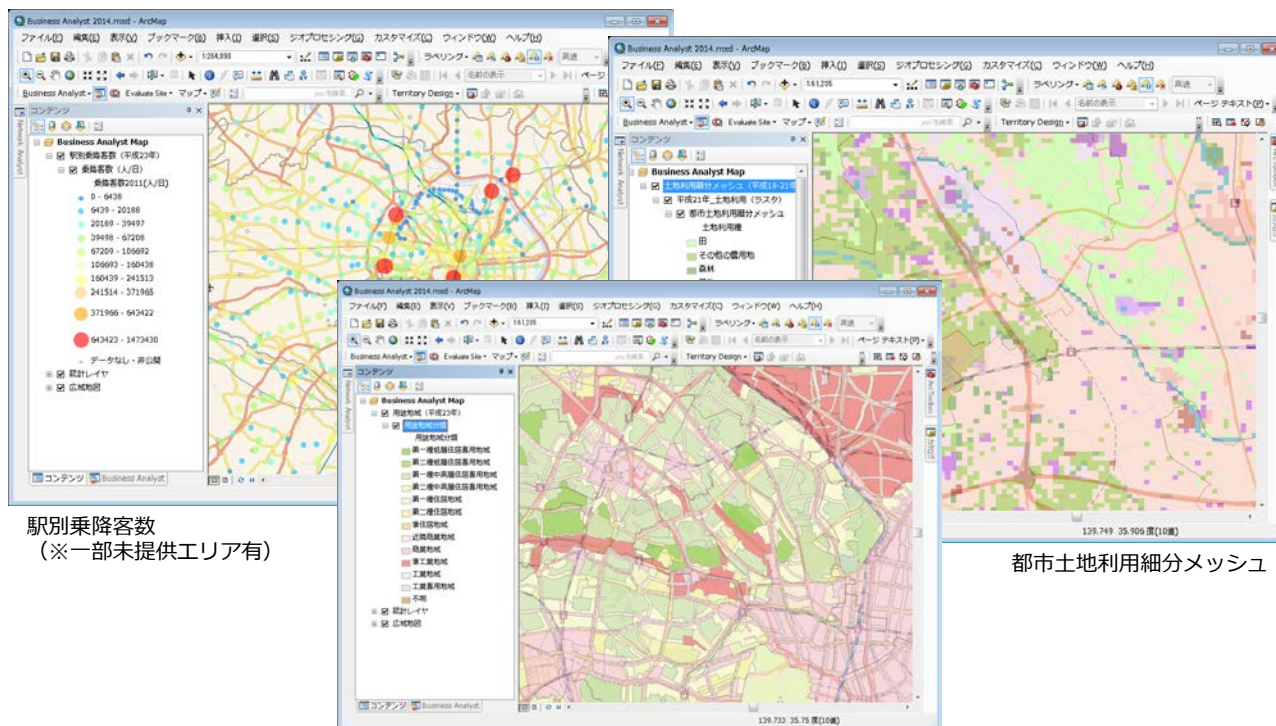
Esri Business Analyst 標準搭載の道路ネットワークに、初期設定の画面から簡単に通行ルールを設定できるようになりました。商圈作成の際に、「高速道路使用の有無」や「幅員の狭い道路を使用しない」などの詳細な設定を行うことができます。また、データ形式の見直しにより分析パフォーマンスの向上も図りました。



各種搭載データを更新しました

お役立ちデータの拡充

用途地域データや詳細な都市土地利用メッシュデータ、駅別乗降客数データ（※一部未提供エリア有）など、エリアマーケティングを行う上でさまざまにご活用いただけるデータを新たに追加しました。



駅別乗降客数
（※一部未提供エリア有）

都市土地利用細分メッシュ

用途地域

住所ロケータの精度向上

最新データへの更新およびアルゴリズムの見直しを行い、マッチ率の向上を図りました。また、市区町村名の省略や小字のあいまい検索、大字代表点の検索などにも新たに対応しました。

最新の背景地図への更新

Esri Business Analyst の背景地図としてご利用いただける「広域地図」「公共地図」が、最新の地図データを用いて更新され、新東名高速道路などの最新の地物が反映されました。また、目標物に交差点名称を加えるなど、目標物も充実しました。